

学校再編方針にかかる地域説明会での質疑 【泉中学校区】

令和6年1月25日（木）

宇仁地区は協議を続けるという一文だけなので、どうなっているのか理由を知りたい。資料を公表する際に説明がほしかった。

宇仁校区のタウンミーティングで、地域の方々から宇仁小学校を残してもらいたいという強い要望、意見があった。地域の方々の納得が得られていない状況で、一方的に方針を発表することは避けたいと考えている。ただ、小学校統合を望む保護者の意見も多い。宇仁地区の保護者、地域、そして我々も一緒に協議を行い、今後の方向性を見定めていきたい。協議が整えば、令和8年の統合に宇仁小学校も含めることも可能であり、合意が得られなかった場合には単独で残すということも想定される。

スクールバスの2キロの条件について、現在の泉小学校の児童も乗れるようになるのか。また、日吉校区は、乗れる児童と乗れない児童も出てくるのか。

現在の泉小学校の児童も2キロを超える場合はバスの利用が可能ということになる。隣接する小学校においては、2キロ以内の児童がいる可能性はある。原則、徒歩圏内として取り扱う方針であるが、個々には地域とともに相談しながら進めていきたい。

地域の核である小学校が失われると地域が疲弊していく。人口が減るのは致し方ないというような消極的な考え方でなく、人口を増やすための全市的な活性化策に取り組んでほしい。

新たな活性化策を現在考えている。一つ言うと、住宅団地の整備など、それぞれの地域に合ったようなまちづくりを地域と協議しながらつくっていききたい。ふるさと創造会議や各地区の区長会でも話をしていきたいので、今後とも協力をお願いしたい。

統合ありきで1カ所に集めることも大事だが、リモートワークで勉強ができるようなことも可能性として検討していただきたい。

コロナ禍の当初、リモートで話ができるということで、会議や授業で導入が進んだ。しかし、授業の中で子どもたちが育っていく、子どもたち同士で関係づくりをしていくとなると、どうしてもリモートには限界がある。今も小小連携でリモート授業を一緒にやっているが、状況を聞くとなかなか難しい。会議のような形は成り立つが、授業で実際に学んでいくには難しいというのが現状である。

統合された通学路が危険になるというのは絶対に避けなければいけない。原則と言われたが、通学距離が1.9キロであってもスクールバスの対象となる可能性はあるか。

学校までの距離が1.9キロであっても、通学ルートの整備状況とか、集合場所がスクールバスの通行できる道路なのか、いろんな諸事情がある。原則と答えたが、がちがちに適用せず、諸条件を考慮しながら柔軟に考えていきたい。

人と人のかかわりというのは大切だと思う。地域とのかかわりというのはもう今ほとんどないよ
うに感じる。小学校が統合された後、そのようになってしまうのは、今後の子どもの育て方という面
においては避けてほしい。

統合後の地域とのかかわりについては、カリキュラムとも関係してくるが、総合的な学習の時間で、
それぞれの旧の小学校区の方々と交流するような時間にしていくとか、方法はいろいろ考えることが
できる。今後、地域との協議の中で一緒に考えていきたい。

小学校が廃校になった場合、避難所としての機能はそのまま残るのか。

災害時に避難所は必要である。一定程度の避難所を設けていく形にしていきたい。避難所を残すこ
とも含め、跡地や校舎の新たな使い道を総合的に考えていきたい。

**子どもの体力を高めていくということで、学校への行き帰りが非常に子どもの体力を高めていくと
いうことだと思う。だから、スクールバスというのは当然問題になっていくのだが、体力増強という
面で統合というものがどういう影響があるのか。考えてほしい。**

学校では体育の授業があるので、走ったり飛んだり運動をする。加西市では徒歩通学で長い距離を
歩くが、都市部に行くバス通学や、すぐ近くの小学校に通う子どももたくさんいる。その子どもた
ちが非常に体力的に劣るという結果は明確にあるわけではない。学校でも意識しながらしっかりと体
力づくりをしていくことは必要だと考える。

**保護者であるお母さん方が働いておられることが多く、お子さん方の負担のかからないような形を
考えていただきたい。学校の再編問題に関して、地域の活性化と学校の統合は車の両輪として取り組
んでいただきたい。**

それぞれ地域の方が中心になって地域の子どもたちと一緒にいろんなイベントを開催していただく
ということは、地域の方と子どもたち、また保護者の方たちの絆を強めることにもなると思う。

**宇仁小学校の継続協議の結果、宇仁小学校を単独で残すという結論に至った場合、残りの3校、日
吉小学校、西在田小学校、泉小学校は令和8年4月に合併しているのか。**

宇仁小学校がどちらの選択を最終的に結論づけられようと、残り3校となった場合は3校で統合小
学校を設置すると理解いただきたい。

**宇仁小学校の校舎は新しいので、バスを利用するならば、宇仁小学校で統合することはできないの
か。**

現状の宇仁小学校は1学年1クラスの校舎規模なので、現実的ではないと考えている。泉小学校で
あれば、もともと各学年2クラスあった規模でつくられた校舎であるので泉小学校が望ましい。

加西統合中学校の用地確保が困難な場合は既存の学校用地とあるが、加西中学校、泉中学校、善防中学校の3つのどこかということになると思うが、その優先順位は決まっているのか。

基本的には新たな中学校を新築するのが基本的な考え方である。どの中学校の校舎を使うかということは、基本的には行いたくない。

用地確保が困難な場合は、別の用地に新しい学校を建てることになるか。

新しい用地を確保した上で、新設中学校を建設するという方針が原則である。

小中学校の再編というと大人が話し合っただけで決めてしまう印象がある。子どもたちに意見を反映させる場所をもっとたくさん設けてほしい。伝統の詰襟、セーラー服でなくても、夏場や冬場はもっと過ごしやすい制服にしたいとか、LGBTQの問題もあるので、男の子も女の子もスカートやズボンを選べるとか、あと体調や気持ちの面で教室の場に参加できないが、パソコンを使って授業に参加できるとか、もっと今の子どもたちや卒業したての子どもたちの意見を反映させる場を設けてほしい。

今回、中学生と高校生にアンケートを行った。制服は中学生、小学生も非常に関心の高いところと思う。準備委員会、地域での協議会で、構成員は大人と説明したが、内容によっては、タイミングに応じて子どもたちの声もアンケート形式でとるとか、そういった声が拾える運営をしていきたい。